

## 平成 12 年度 再評価実施事業（国庫補助事業）調書

事業所管部局		建設省都市局街路課	
計画事業名	都市計画道路の整備 野川柿生線(王禅寺)	事業担当局	建設局
事業採択年度	着手年度 平成 3 年度	認可・承認等年度	平成 3 年度
経過年数	10 年	該当条項	事業採択後 10 年を経過
完了予定年度	平成 15 年度	関連事業名	
事業の目的・概要・課題	事業目的 多核ネットワーク型の都市構造を支える都市軸交通幹線網の整備と共に、環境に配慮した質の高い生活空間を形成する。	事業採択時の背景・及び契機  本路線は、川崎市の北部を横断する主要幹線道路であり、現道幅員が狭いので、交通安全上からも早急に整備する必要がある。	
	事業内容  箇所 麻生区王禅寺地内 道路延長 L = 約 468m 副員 W = 16m (現況: W = 6m) 都市計画延長 L = 15,850m 完成延長 L = 5,675m	事業採択(着工、未着手)から基準年を経過している主な理由  本路線は住居地域であり沿道に住宅が建ち並んでいる。また、起伏に富んだ地形のため道路拡幅に伴う沿道住民の生活への影響が大きく、用地を取得するにあたり、交渉に多大な時間を要したことによる。	
	事業費規模(単位:百万円)  (1) 事業費 1,079 (うち国庫補助金 419) (2) 残事業費 459	現状の課題  用地取得率 48% (H12 年 3 月現在) 起伏に富んだ地形のため道路拡幅に伴う沿道住民の生活への影響が大きい。このため事業用地取得にあたり地権者の協力を得るのに生活再建等も含め交渉に時間を要している。 事業の重要性を十分に認識し、早期解決に向け地権者との交渉を進めていく。	

評価の概要	本路線は、東名川崎 I . C . や横浜青葉 I . C . 及び 60 周年記念総合公園にアクセスする道路であり、小学校の通学路(王禅寺小学校)にも指定されている。また、民間開発により宅地化が進み人口及び交通量が増大し歩道部の分離もなくカーブが連続している危険な路線であり交通の円滑化及び歩行者の安全を確保するための早急な整備が必要な路線であります。
-------	---

再評価への考え方	本路線は川崎市の北部を横断する道路であり「川崎新時代 2010 プラン」に位置づけられている主要幹線道路であるとともに、丘陵軸の尻手黒川線の整備とともに北部地区の横浜青葉 I . C . や東名川崎 I . C . へのアクセス道路としての位置づけのある総合交通体系を補完する道路であります。 市制 60 周年記念総合公園及び王禅寺余熱利用市民施設へのアクセス改善事業でもあり、引き続き事業を継続することが必要です。
対応方針案	対応方針案 ( <u>継続</u> 、中止、休止 ) 対応方針案の考え方 交通安全上、早期完成が望まれている。事業用地取得に難航しているが、本路線は、本市の交通体系を形成する路線として重要な位置づけになっている。 以上の事から、事業を継続することが必要であると判断できる。なお、今後、事業を進めるにあたっては住民ニーズを十分に把握した対応をとるとともに、事業の重要性等をさらにアピールし、関係者の理解協力を得られるよう努力していく。